

平成28年（2016）1月 入域観光客数概況

1月の観光客数は、58万1,600人
対前年（H27）同月比 +5万1,500人、+9.7%
～1月の過去最高を更新、韓国客は単月初の4万人超～

入域状況

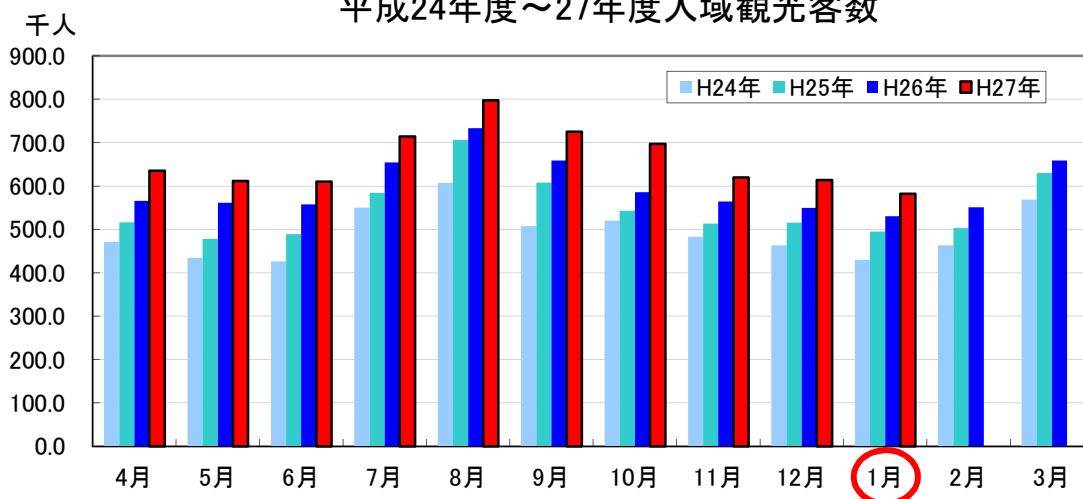
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	466,700 人	462,200 人	+ 4,500人	+ 1.0%	80.2%
外国客	114,900 人	67,900 人	+ 47,000人	+ 69.2%	19.8%
合計	581,600 人	530,100 人	+ 51,500人	+ 9.7%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	466,700 人	462,200 人	+ 4,500人	+ 1.0%	80.8%
外国客	110,600 人	67,500 人	+ 43,100人	+ 63.9%	19.2%
合計	577,300 人	529,700 人	+ 47,600人	+ 9.0%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



国内客 入域状況

1月は、年末年始の日並びの関係で短い連休となったことによる影響があったものの、成人の日を含む三連休が好調だったことや、各旅行会社主催によるイベント等があったことから、前年を上回った。

2月以降は、各旅行会社による旅行商品の予約状況が良好なことや、2月下旬にはLCCによる成田－那覇路線の新規就航が予定されていること、2月から3月にかけて離島直行チャーター便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

1月は、韓国の新規航空会社による不定期便を含む航空路線の拡充や、例年閑散期となる中でのクルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路ともに好調に推移し、前年を上回った。

2月は、主要方面から春節・旧正月の旅行需要増に伴う臨時便やチャーター便が予定されていることに加えて、下旬にはLCCによる台北－那覇路線の増便や、引き続き、クルーズ船の寄港回数が増加する予定となっていることから空路・海路ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	228,700 人	226,100 人	+ 2,600人	+ 1.1%	49.0%
関西方面	93,600 人	89,500 人	+ 4,100人	+ 4.6%	20.1%
福岡方面	62,100 人	61,100 人	+ 1,000人	+ 1.6%	13.3%
名古屋	37,300 人	36,200 人	+ 1,100人	+ 3.0%	8.0%
その他	45,000 人	49,300 人	△ 4,300人	△ 8.7%	9.6%
合計	466,700 人	462,200 人	+ 4,500人	+ 1.0%	100.0%

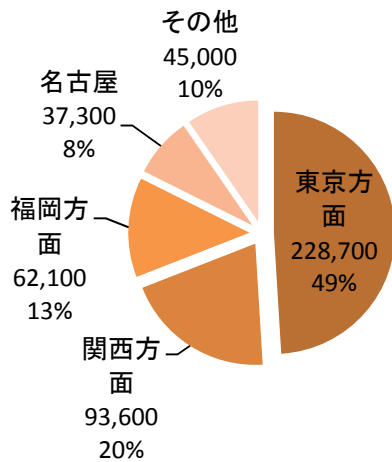
※国内海路客2,500人を含む(鹿児島2,500人)

外国客 国籍別入域状況

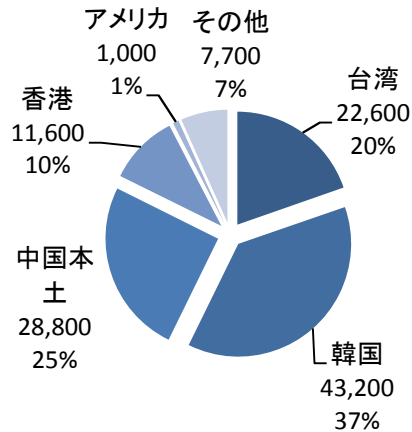
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	22,600 人	22,600 人	15,100 人	+ 7,500人	+49.7%	19.7%
韓国	43,200 人	43,200 人	31,800 人	+ 11,400人	+35.8%	37.6%
中国本土	28,800 人	28,800 人	8,500 人	+ 20,300人	+238.8%	25.1%
香港	11,600 人	11,600 人	9,000 人	+ 2,600人	+28.9%	10.1%
アメリカ	1,000 人	1,000 人	700 人	+ 300人	+42.9%	0.9%
その他	7,700 人	3,400 人	2,800 人	+ 4,900人	+175.0%	6.7%
合計	114,900 人	110,600 人	67,900 人	+ 47,000人	+69.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	20,900 人	20,900 人	+38.4%	20.8%	1,700 人	1,700 人	皆増	11.6%
韓国	43,100 人	43,100 人	+35.5%	43.0%	100 人	100 人	皆増	0.7%
中国本土	20,400 人	20,400 人	+140.0%	20.3%	8,400 人	8,400 人	皆増	57.5%
香港	11,600 人	11,600 人	+28.9%	11.6%	0 人	0 人	-	0.0%
アメリカ	1,000 人	1,000 人	+42.9%	1.0%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	3,300 人	3,300 人	+50.0%	3.3%	4,400 人	100 人	+633.3%	30.1%
合計	100,300 人	100,300 人	+49.0%	100.0%	14,600 人	10,300 人	+2333.3%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

1月は、年末年始が短い連休となった影響があったものの、成人の日を含む三連休が好調だったことや、各旅行会社主催によるイベント等があったことから、前年を上回った。
2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭り等イベントが多く、各旅行会社の旅行商品の予約状況が良好なことや、下旬にはピーチアビエーションによる成田ー那覇路線の新規就航が予定されていることから、好調に推移する見込み。

大阪

1月は、ANAの伊丹ー那覇路線の拡充に加えて、JTAの関西ー石垣路線や一部LCCを中心に好調に推移したことから、前年を上回った。
2月以降は、スポーツキャンプ見学や桜祭り等イベントが多く、各旅行会社による旅行商品の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

福岡

1月は、一部団体旅行が好調であったことや、離島を中心とした旅行商品が好調であったこと等から、前年を上回った。
2月以降は、ANAによる福岡ー那覇路線の期間増便や、修学旅行等の団体旅行や宿泊パッケージ等の旅行商品の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

名古屋

1月は、一部旅行会社の販売が伸び悩んだものの、他の旅行会社と航空会社による旅行商品の造成・販売の取り組み強化が見られたことや、引き続き、LCCが好調に推移したこと等から、前年を上回った。
2月以降は、団体旅行が好調となっていることや、2月から3月にかけて宮古や与那国へのチャーター便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

1月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、下旬には今年初の定期クルーズ船の寄港(昨年は3月)があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
2月は、春節時期の旅行需要の増に伴う臨時便に加えて、下旬にはピーチアビエーションによる台北ー那覇路線の増便や、引き続き、定期クルーズ船の寄港が予定されていることから、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

1月は、昨年後半のLCCによる相次ぐ新規就航を含む航空路線の拡充に加えて、大韓航空による不定期便等があったことにより、単月で初の4万人台を記録した。
2月は、旧正月や春休み等の旅行需要増に伴う不定期便や那覇及び離島へのチャーター便が予定されていることに加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があることから、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

1月は、前年同月に比べて航空路線が拡充したことや、旅行商品の販売状況が好調であったこと等により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
2月以降は、春節時期の旅行需要増に加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、春節以降の旅行商品の販売状況も好調であること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

1月は、前年同月に比べて上海ー那覇路線の増便等による航空路線の拡充や、上海発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
2月は、春節時期の旅行需要増に伴う臨時便や青島ー那覇間チャーター便が予定されていることに加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、上海発クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

1月は、前年同月に比べて航空路線が拡充したことや、個人旅行の需要が好調であったこと等により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
2月は、春節時期の旅行需要増に伴う臨時便に加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、コスタクルーズ社による香港発クルーズ船の初寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。